

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO. 2022-04 化学療法誘発性末梢神経障害の評価方法と可視化
当院の実施責任者研究及び職名	産婦人科 佐々木貴充
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2024年3月
対象期間（西暦）	2021年9月～2024年3月
研究の目的	化学療法誘発性末梢神経障害（Chemotherapy-induced peripheral neuropathy:以下CIPN）はオキサリプラチンやタキサン系薬剤を使用した抗癌剤治療でおきる一般的な副作用として知られている。これは化学療法終了後も改善が得られず、長期にわたって症状が持続することも少なくない。また、CIPNは目に見えず、これを数値化することが非常に難しい。そのため、患者の主観的な訴えに頼らざるをえず、しばしばその症状が置き去りにされることも多いのが現状である。そこで、CIPNを正しく評価し、これを医療者と患者の主観的評価とともに行うことで、これらの評価の間にある溝を埋める一助となることを目的とする。また、このしびれ以外による有害事象が与える影響もあわせて「QOL」という形で評価することで、癌治療を多職種で理解して、より良い医療の提供を目的とした。
研究の内容	PNQ（Patient Neurotoxicity Questionnaire）とCTCAEによるグレード評価、EQ5D5L（EuroQol5dimensions 5-level）日本語版を用いて、これらの質問表での評価を抗癌剤使用する患者に記入してもらう形で2021年9月より対象患者を増やしながら実臨床で運用する。今回、2021年9月～2024年3月までに上記評価表を用いた患者を対象に、評価完成度、評価表全体としての整合性および可視化を行って、実臨床での有用性を改善点を明らかにすることを目的に後方視的研究を行う。

<p>個人情報の取扱い</p>	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>連結情報は、当院内のみで管理し、評価表は電子カルテ内に保管します。評価項目を抽出したファイルは研究番号を付与し、匿名化した形で運用します。対照表は治験管理室に保管します。保管期間は論文とした後3年間とします。</p>
<p>問い合わせ先 (拒否等受付窓口)</p>	<p>【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 産婦人科 氏名：佐々木 貴充 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311</p>